

『どこまで許せる？ズボラ掃除展』、 来場者969名によるズボラ掃除あるある投票で見えた、令和の“掃除新基準” “ズボラ掃除”は、だらしない掃除ではなく“許せる掃除”へ。

『配達物のガムテープは床をパタパタして天寿をまっとうさせる。』は許せる派75.4%！
ハンディスチーマー「SC 1 Multi」が提案する、気づいたときにサッと済ませる効率掃除

2026年6月16日
ケルヒャー ジャパン株式会社

清掃機器の世界最大手メーカー、ドイツ・ケルヒャー社の日本法人、ケルヒャー ジャパン株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:挽野 元)は、“効率掃除”を叶えるハンディスチーマー「SC 1 Multi」シリーズのブランドコミュニケーションとして、『どこまで許せる？ズボラ掃除展』を2026年6月11日(木)から6月14日(日)までOPENBASE SHIBUYA(東京都渋谷区)にて開催しました。



本展示は、世の中にあふれる否定的に捉えられがちな“ズボラ掃除”を、「どこまでなら許せるのか」という視点で捉え直し、クスツと笑える“ズボラ掃除あるある”として「許せる？許せない？」という問いとともに展示する参加型イベントです。

会場では、ケルヒャー ジャパン公式X(@KarcherJapan)で募集した300件以上の“ズボラ掃除あるある”の中から、思わず共感してしまうエピソードを展示。来場者はそれぞれのエピソードに対して「許せる／許せない」を投票し、自分と他人の掃除に対する感覚の違いを楽しみました。4日間の来場者は969名にのぼり、来場者が参加した投票の結果、『配達物のガムテープは床をパタパタして天寿をまっとうさせる。』は許せる派75.4%となりました。一方で、『コンロの油汚れ剥がす情弱ある？あれ鉄鍋の油膜と同じ「防サビコーティング」やぞ。』は許せない派87.1%となり、何かのついでに行う気楽な掃除”には共感が集まる一方、衛生面や周囲への影響が想像される行為には「許せない」とする声が多く集まるなど、令和の掃除に対するリアルなボーダーラインが見える結果となりました。

本イベントを通じて見えてきたのは、掃除を「完璧にやるべきもの」として捉えるのではなく、気になったときに、無理のない範囲で、効率的に整えるという新しい掃除観です。ハンディスチーマー「SC 1 Multi」シリーズは、“ズボラ掃除”を“許せる掃除”に変えるアイテムとして、会場でも多くの来場者に体験いただきました。

■「ズボラ掃除」を“許せる掃除”へ。掃除との新しい付き合い方を考える4日間

共働き世帯の増加や生活スタイルの多様化により、掃除にかけられる時間や気力は人によって大きく異なります。一方で、掃除に対しては今もなお「きちんとやらなければならない」という意識が根強く、少し手を抜くことに後ろめたさを感じる人も少なくありません。そこでケルヒャーは、“ズボラ掃除”を単なる手抜きとして否定するのではなく、日々の暮らしの中で無理なく清潔さを保つための許せる掃除”として捉え直すことを提案。

本展では、生活者のリアルな掃除習慣を可視化することで、掃除との新しい付き合い方を考えるきっかけを創出しました。“ズボラ掃除”とは、掃除をしないことではなく、忙しい毎日の中で無理なく清潔さを保つための生活者なりの工夫でもあります。本展では、その工夫がどこまで「許せる」のかを来場者とともに考えることで、完璧な掃除ではなく、続けられる掃除、気負わず取り入れられる掃除のあり方を探りました。

■「許せる／許せない」の投票では「これは許せる」「これはさすがに無理」と、掃除の本音が可視化

会場には、友人同士やカップル、家族連れなど幅広い来場者が訪れ、展示された“ズボラ掃除あるある”に対して「これは許せる」「これはさすがに無理」と会話を楽しむ姿が多く見られました。

特に投票パネルの前では、来場者同士が自分の掃除習慣と照らし合わせながら意見を交わす様子が見られ、“ズボラ掃除”という身近なテーマをきっかけに、掃除に対する価値観の違いが自然と表れる空間となりました。また、ハンディスチーマー「SC 1 Multi」シリーズの体験ブースでは、スチームによる手軽な掃除体験に対し、「思ったより簡単でお手軽」「面白いほどスルっと汚れが落ちた！」といった声も寄せられました。



■結果ハイライト① 何かのついでに行う気楽な掃除”は、意外と許される？

会場で展示された“ズボラ掃除あるある”のうち、来場者から「許せる」と最も多く投票されたエピソードは、『配達物のガムテープは床をパタパタして天寿をまっとうさせる。』でした。

「許せる」最多エピソード TOP3

1位 配達物のガムテープは床をパタパタして天寿をまっとうさせる。

(投票数737 許せる派75.4%)

2位 ケルト音楽かけて掃除をすると、なんだか部屋がキレイになった気がする。

(投票数731 許せる派73.1%)

3位 大雨だ。待ちに待った洗車日だ。

(投票数732 許せる派70.1%)

この結果からは、現代の生活者が掃除に対して、必ずしも“完璧さ”だけを求めているわけではないことが見えてきました。すべての汚れを一度に落とし切るのではなく、何かのついでに気になるところを気楽に掃除してみる。そうした“許せる掃除”の感覚が、多くの来場者に共有されていたことがうかがえます。

■結果ハイライト② 「周囲に影響するズボラ」は許されにくい傾向に

一方で、「許せない」と最も多く投票されたのは、『コンロの油汚れ剥がす情弱おる？あれ鉄鍋の油膜と同じ「防サビコーティング」やぞ。』でした。

「許せない」最多エピソード TOP3

1位 コンロの油污れ剥がす情弱おる？あれ鉄鍋の油膜と同じ「防サビコーティング」やぞ。

(投票数737 許せない派87.1%)

2位 お風呂上がりの濡れたバスマットでリビングまでモップがけ。

(投票数650 許せない派82.9%)

3位 テーブルの上も掃除機で吸っちゃう

(投票数757 許せない派79.0%)

興味深いのは、許せないエピソードの2位・3位も許せるエピソードと同様の何かのついで行う“気楽な掃除”である点です。しかし、許せる側との大きな違いは、衛生面の懸念や、他人に直接影響を与える行為であること。ニオイや衛生面、他人の目に触れる場所など、周囲への影響が想像されるエピソードについては「許せない」と感じる人が多い傾向が見られました。

この結果から、生活者が求めているのは、掃除を完全にやめることなく、必要なところはきちんと整えながら、無理なく続けられる掃除であることがうかがえます。ハンディスチーマー「SC 1 Multi」シリーズは、そんな“気になったところだけをサッと済ませる効率掃除”に適した製品として、会場でも関心を集めました。

■ハンディスチーマー「SC 1 Multi」が抽選で3名当たるX投稿キャンペーンも開催！

来場者への特典として、ケルヒャー ジャパン公式Xアカウント「@KarcherJapan」をフォローしていただき、会場の写真とともに、「#どこまで許せるズボラ掃除」を付けて、投稿いただいた方から、ハンディスチーマー「SC 1 Multi」シリーズを抽選で3名様にプレゼントするX投稿キャンペーンを実施。会期中、多くの方にこのキャンペーンへご参加いただきました。

■「ズボラ掃除出張所」で履いてきたスニーカーをその場でサッとスチーム洗浄

“ズボラ掃除”を“許せる掃除”に変える「SC 1 Multi」ブースにも反響



本展で見えてきたのは、生活者が掃除に対して「完璧にやり切ること」よりも、「気になったときに、無理なく整えられること」を求めているという意識です。

会場では、“ズボラ掃除”を“許せる掃除”に変えるアイテムとして、ハンディスチーマー「SC 1 Multi」シリーズの体験ブース「ズボラ掃除出張所」を展開しました。ブースでは、来場者が履いてきたスニーカーをその場で蒸気洗浄し、そのまま履いて帰ることができる「ズボラ掃除体験」を実施。掃除を大がかりな作業にせず、気になった汚れをその場でサッと済ませる体験として、多くの来場者にお楽しみいただきました。

体験した来場者からは、「思ったより簡単でお手軽」「面白いほどスルッと汚れが落ちた！」といった声が寄せられました。

「SC 1 Multi」シリーズは、蒸気力で汚れを落とすハンディタイプのスチームクリーナーです。水だけで使える手軽さや起動の速さに加え、キッチンまわりや水まわり、スニーカーなどの気になる汚れにも使いやすく、日々の暮らしの中で“気づいたときに済ませる”掃除をサポートします。完璧を目指すのではなく、無理なく清潔さを保つ。そんな現代の暮らしに合った“許せる掃除”を叶えるアイテムです。

■“後ろめたいズボラ”を“笑える共感”に変える、ふるえとりさん描き下ろしの会場限定4コマ漫画も展示

会場では、“ズボラ掃除あるある”の中から厳選された1エピソードを、人気イラストレーター・ふるえとりさんが4コマ漫画として描き下ろした作品やふるえとりさんご自身のズボラ掃除エピソードを描いた会場限定のオリジナル4コマ漫画を展示しました。本来であれば少し後ろめたく感じてしまうような掃除の手抜きも、ふるえとりさんならではのシュールで親しみやすい表現を通すことで、「自分だけじゃなかった」「共感できる」と笑いながら受け止められる共感コンテンツになりました。



■ふるえとり プロフィール

ふるえとり

SNS:

X <https://x.com/torikaworks>

Instagram <https://www.instagram.com/torikaworks/>

秋田出身東京在住のイラストレーター兼漫画家。

日常のエッセイ漫画やシュールなキャラクターを描いています。



■製品概要

ハンディスチーマー「SC 1 Multi」



<付属装備品>

ノズルヘッド、ブラシ、ハンドブラシ、ハンドブラシ用カバー、延長スチームホース、スケール除去カートリッジ

ハンディスチーマー「SC 1 Multi & Up」

「SC 1 Multi」の付属品に加え、床清掃用のフロアノズルとパイプが付属



<付属装備品>ノズルヘッド、ブラシ、ハンドブラシ、ハンドブラシ用カバー、延長スチームホース、スケール除去カートリッジ、パイプ、フロアノズル、フロアノズル用クロス

製品名	SC 1 Multi / SC 1 Multi&Up
希望小売価格(税込)	SC 1 Multi 19,800円 / SC 1 Multi&Up 24,800円
本体寸法(長さx幅x高さ)	345 × 113 × 190 mm
本体質量	約 1.6 kg
消費電力	1300 W
電源コード長さ	4 m
連続使用時間	給水で連続使用可能
清掃面積	約30 m ²
スチーム連続噴射時間	約6分(※1)
定格使用時	2時間(※2)

※1 1回0.2Lの給水で連続噴射できる時間 ※2 電源がONになっている時の合計時間

製品ページ

【ケルヒャーWEBサイト 製品ページ(公式オンラインショップ)】

SC 1 Multi <https://www.kaercher.com/jp/home-garden/steam-cleaners/sc-1-multi-15164190.html>

SC1Multi&Up <https://www.kaercher.com/jp/home-garden/steam-cleaners/sc-1-multi-up-15164140.html>

【Amazon】

SC 1 Multi <https://www.amazon.co.jp/dp/B0GN8TNX1B/?psc=1>

SC1Multi&Up <https://www.amazon.co.jp/dp/B0GN8RV6S2/?psc=1>

【楽天】

SC 1 Multi <https://item.rakuten.co.jp/karcher/1516-4190/>

SC1Multi&Up <https://item.rakuten.co.jp/karcher/1516-4140/>

利用シーン



キッチン



リビング



浴室



ペット

■イベント開催概要

イベント名	どこまで許せる？ズボラ掃除展
主催	ケルヒャー ジャパン株式会社
開催期間	2026年6月11日(木)～6月14日(日)11:00～19:00 ※初日(11日):12:00～19:00 最終日(14日):11:00～18:00
入場料	無料
開催場所	OPENBASE SHIBUYA 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町14-13 宇田川町ビルディング1F

※ニュースリリースに記載された内容は発表時の情報です。
予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。